

大楠

保護者・地域の皆様へ 第14号 平成23年2月8日(火)

平成23年もひと月が過ぎました。今年の宮崎県は口蹄疫からの復興を目指すはずだったのに、高病原性鳥インフルエンザの発生と新燃岳噴火にいきなり襲われました。昨年の教訓を生かし、万全の予防対策をとられていた畜産・養鶏農家の方々のご心中を思うと言葉が見つかりません。新燃岳は300年前の噴火に匹敵する現象で、人々に不安と恐怖をもたらしています。

このような災害を目の当たりにするとき、これは、現代に生きる私たちへの自然からの警告ではないかと考えてしまいます。

避難所から受験に向かう中学生の姿がありました。本校の生徒たちも、同じ中学生として、きつと心を感じるものがあつたと思います。

それぞれの地で終わりの見えない困難な状況と戦っておられる方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い終息を祈るばかりです。

《いよいよ勝負の時 高等学校入学試験始まる》

先週、私立高校の入学試験が行われ、47名の生徒たちが、宮崎学園、宮崎日本大学、聖心ウルスラ学園、宮崎第一、日章学園の各高等学校の試験に臨みました。これまでの努力の成果、実力を存分に出し切って受験できたと確信しています。

昨日から合格発表も始まり、これまで受験生全員がうれしい通知を手にかけています。おめでとう!! 明日まで発表が続きます。昨年同様、全員の合格を祈っています。

また、本日8日(火)は県立高校推薦入学者選抜検査が行われています。受検する皆さんは、私立高校受験同様、自信をもって臨み、ベストを尽くしていることと思います。皆で応援しています。

《生徒会 朝のあいさつ運動の広がり》

昨年度から始まった全校でのあいさつ運動。今年度は年間を通して学級単位で取り組んでいます。どの学級も少し早起きし、寒い中、頑張ってお活動してくれています。

ただ、この運動が隔週の計画であるため、活動が途切れることとなります。3学期初め、生徒会執行部から提案がありました。「継続的に元気よくあいさつ運動に取り組みたい。」と。そして、生活委員会と協力し、「学級のあいさつ運動がない週に、個人として自主的に参加しませんか。」と呼びかけ、先週(1/31)から取組が始まりました。

初めは参加者が少なく寂しい状況でしたが、日を追うごとに増え、うれしい広がりを見せています。先週は寒さが特に厳しく、自分との戦いもあったことでしょう。また、担当の生徒会役員の皆さんは毎朝立って来ています。頭が下がります。

生徒たちには「時と場所に合った適切なあいさつができる」ようにと指導しています。学校内では少しずつ意識も高まり、元気良いあいさつができるようになってきています。しかしながら学校外は、というと、個人差もあり、まだまだという声も聞こえてきます。

目指す姿に近づけるよう日々の指導に取り組んでいます。新田中学校の生徒たちの「自分たちで何か行動を起こそう!」という『思い』を温かく見守り、応援していただきたいと思っています。

《文武両道!! 皆、頑張っています》 ※敬称略

◆東児湯巡回作品展

美術の時間で制作した作品の中から代表作を管内9中学校に巡回展示する作品展です。本校から7名の皆さんの作品が出展されました。どの作品も個性あふれるすばらしいものです。

- 1年 川口 倭 佐竹泰吉
- 2年 大木彩香 堀内郁美 秋山真也
大西亜季
- 3年 酒井菜々美

◆英語検定試験

- 1月22日(土) 新田中学校
- 3級～5級 12名が挑戦しました。

◆全九州中学生バスケットボール春季大会(男子)

- 1月22日(土) 天ヶ城体育館(高岡)
- 初戦：赤江中学校に惜敗
- 昨夏、県チャンピオンのチームです。少ない人数で必死にくりつきましたが、力及ばず残念!!

◆県中学校弓道選手権大会

- 1月23日(日) 県武道館
- 女子団体：4位
- 個人の部：2位 武本華奈

◆全九州地域選抜中学校ソフトテニス大会

- 1月29日(土)～30日(日) 佐賀県
- 女子：予選リーグ1位 決勝トーナメント初戦惜敗
- 男子：ベスト8

◆J A 共済杯UMK中学校バレーボール選抜大会

- 1月30日(日) 生目中学校
- 初戦：大淀中に惜敗
- 1セット目は15対25、2セット目は底力を発揮し、ジュースまで持ち込むも24対26で惜しくも勝利ならず、本当に残念!!

◆ジュニア選抜ソフトテニス大会

- 2月5日(土)～6日(日) 延岡市
- 女子：準優勝
- 男子：決勝トーナメント1回戦惜敗

《給食週間終わる 感謝の気持ちを伝えました》

1月27日(木) 講堂にて。1月から仮設校舎生活になり、給食は新築の新田小学校調理場から届けていただいています。2人の調理員さん(馬場さん、中馬さん)とは顔を合わせることができなくなってしまいました。全校生徒で給食について考え、感謝する機会として実施しました。

保体委員会(濱砂誠委員長)が中心となって計画、運営を務めてくれ、学校給食の歴史と意義についての発表、給食クイズ、給食への思いを詠んだ川柳ベスト12首の発表を行いました。

最後に、お招きした調理員さんに各学級から感謝の色紙と花束を贈呈し、お二人から感謝の言葉と「皆さんの顔が見られなくなって寂しいけれど、笑顔で食べてもらえる給食をつくっていききたい。」と温かいメッセージをいただきました。

川柳に使われた言葉の1位は「ありがとう」でした。育てる人、作る人・・・給食に感謝です。

文責：宮本 綾 新田中学校 (TEL33-1015)
本校に対するご意見・ご要望、お便りなどお寄せください。お待ちしております。